

## 自産自消ができる国へ vol.83

# 『「マイファームつくる通信」を発刊します』

文 西辻 一真 text by Kazuma Nishitsuji

マイファームは2007年の創業期から「自産自消のある社会」創りを行っています。自産自消のある社会とは「野菜が好き、農業が好きだ」と思う人たちに溢れる社会」のことを指し、その社会作りへの提案を事業にしている会社です。都市部では耕作放棄地を利用して「体験農園マイファーム」を創って土との接点を作り出して農を楽しむ場所を提供しています。また周辺部では農ある暮らしや生業としての農業を志す方へ「アグリノベーション大学校」を提供して農の奥深さを知り、大切な人生の仲間を創る場所を提供しています。さらに地方では自社農場を創って地域での持続可能なモデルを提案するために養鶏業や養蜂業にも取り組み、アグリノベーション大学校の卒業生をはじめ地方で農業を行う人をサポートする事業にも取り組んでいます。

その中でこの「マイファームつくる通信」はまだ土との接点がない方やまだ農を楽しむ醍醐味を感じられていな



**Profile**  
82年、福井県生まれ。京都大学農学部卒。広告会社に勤務後、07年9月にマイファームを設立。都市部の耕作放棄地を体験農園として貸し出すビジネスを始める。  
株式会社マイファームの取り組みはこちら  
公式サイト: <http://myfarm.co.jp/>  
フェイスブック: <https://www.facebook.com/myfarm.koto>  
耕作放棄地を再生させる『体験農園マイファーム』: <http://myfarmer.jp/>  
耕作放棄地を耕す人を育てる『アグリノベーション大学校』  
<https://agri-innovation.jp/>

い方へ一歩踏み出したくなるようなツールとして事業を開始します。私たちが考える「一歩踏み出したくなる」ポイントは、手元に種が届いてその種の歴史や栽培方法を感じることができることと一歩踏み出した人のイキイキとした姿をお伝えすることではないかと考えています。

その種の裏にあるストーリーを見ることで、小さな小さな種からできる野菜を想像して収穫するときの自分をイメージすることができれば、きっと手元の種を植えたくなり、ペットボトルを切ったトレイで栽培を始めたり、ホームセンターで土を買ってきてプランターで植えたり、思い切った人は貸し農園や体験農園に飛び出したりするの

ではないかと期待しています。

今、私たちの生活に足りないことは「自然と向き合う」ことで、この栽培を通して「自然にゆだねる時間」や「小さな命が大きな実をたくさんつける感動」を味わってほしいということを切に願っており、この「マイファームつくる通信」を通してその気づきを得てほしいと思っています。それが自産自消のある社会への参加の一歩になります。未来の社会への種まきを私たちと共にしましょう。

マイファームつくる通信の購読申込は  
<https://myfarm-tsukururu.shop-pro.jp/>  
からご覧ください。